

\*\*\*\*\*

## 日本気象学会関西支部 第28期第2回常任理事会 議事録

\*\*\*\*\*

出席者：瀬上、塩谷、向川、大澤、藤井、松本、中山（以上常任理事）、永山、牧田（以上幹事）、里田（オブ、全国理事）

日 時：2008年9月29日（月） 15時～17時

場 所：大阪合同庁舎第4号館 大阪管区气象台

### 議 事

#### 1 夏季大学の報告

8月5日（火）から6日（水）、夏季大学がキャンパスプラザ京都で行われた（詳細は関西支部ニュース第259号参照）。庶務・会計担当より経過報告と決算報告が行われた。講師の講演料辞退、旅費減及びテキスト作成冊数減（50冊）により、前年と比べて今年は約9万円の支出減となった。受講料の納入に関しては、従来の往復はがきによる申し込みに加えて、インターネットによる申し込み方法を導入したが、特に問題はなく、受講料の納入もスムーズにできた。なお、アンケートは現在集計中である。

#### 2 支部発行過去文献の電子化

過去の関西支部の刊行物（例会要旨集、年会予稿集、夏季大学テキスト）の電子化について検討された。この結果、関西支部としては次のような流れで進めることが確認された。今年12月までに業者による157冊の刊行物のスキャン作業を終え、最終的には平成21年12月にHP上での公開を目指す。この間に処理しなくてはならないことは、著作権委譲に関して、著作権が関西支部にあることを定めた要領を策定すること。同時に、関西支部HPあるいは「天気」誌上で刊行物の電子アーカイブに関わる著作権委譲について、早めにアナウンスすること。その他にも、業者の見積もりに関して、料金もあるが、原稿のPDF化だけではなく、インデックス（タイトルと著者名等）の作成が可能かどうかの確認。著作権委譲では海洋気象学会（員）からの承認もとの必要がある。この他、刊行物の在庫が確認されていない冊子の取り扱いや、サーバーの問題等が課題として残されている。

#### 3 第2回気象サイエンスカフェ

進捗状況が説明された。時期の詳細は未定であるが、場所は心齋橋の“英国屋”。時間は平日の夕方1時間30分程度。講師は京都大学の向川先生でタイトルは「温暖化と異常気象（仮題）」。開催に向けての具体的な体制として、関西支部担当理事と気象予報

士会とが協力して進めることが確認された。次回(11月)の常任理事会ではより詳細な説明がある予定。

#### 4 本部との会計統合後の事務処理

本部提案と支部の対応について会計担当より説明があった。本部の基本的な考え方は、地方での学会活動を本部は支援するというもの。会計統合が軌道に乗るには過渡期として5年程度は必要となろう。従来と異なるのは、関西支部の会計報告が増え、かつ手続きが少しややこしくなる程度で、特にこれまでと大きな変化はない。

#### 5 第3回地区例会(近畿地区)の進捗状況

開催日は2009年2月21日(土)で場所は神戸大学の瀧川会館(予約済み)。テーマは海洋と気象(海洋気象学会と共催)。申し込みと原稿提出締め切りは2009年1月14日(水)で特別講演の予定なし。会場費については、今回は隔年持ち回りのため、気象学会主催となり、気象学会の負担とする方向である。

#### 6 その他(関西支部所有のパソコン更新)

関西支部所有のパソコンのスペックが低く、メモリーも256KBしかない。近年、夏季大学等の講演で動画が使われる方も多く、現在のパソコンのスペックでは動画を無理なく行うには困難となってきた。このことを受けて、会計担当より高スペック(メモリーが1GB以上)のパソコン購入について提案があった。この結果、軽量の“Windows Vista Home Premium(XPSM1330、メモリー2GB)”を購入することが確認された。席上、アンチウィルスソフト、PDF編集ソフト、画像処理ソフト、レーザーポインターの購入も要望されたため、その方向で進めることとなった。

以上